

「上里町 官民連携まちづくり勉強会（R6.2.14）」参加者からの質問と回答

【 当日・回答分 】

質 問	回 答
<p>人と人をつなげる事業を継続できている要因は。</p>	<p>まずは「人」というのは、非常に重要だと思ふことが大切。 朝霞市において、「アサカミーティング」が年に3回開催されている。 集客はSNSを通じて行われ、毎回約半数がこれまでも参加したことのある人たちであり、残りの半数が新規参加者となっている。 終わった後は懇親会を行うが、その中で「この人面白い」となって新たな輪が広がる。このような人間関係の構築によって、アサカミーティングは継続できている。</p>
<p>「自分も参加したい、関わってみたい」と思った時に、何から始めていけば良いのかわからない。</p>	<p>仲間探しだと思ふ。仲間を探して、何かやりたい、同じ思いを共有する人を探すところから。 まず「何かやってみない」と話し合ったり、行政の人に相談して、駅前を借りれるような手筈の相談をしたり。 最初は火種のような活動（小さい活動）でいいから、自分たちが楽しめる活動から始めるのがいいのではないか（お金を稼ごうとかいうのではなく）。</p>
<p>アサカストリートテラスの出店者は全て朝霞市内の人なのか。</p>	<p>現在の出店者は、市内外問わず集めている。 当初は朝霞にある出店者をかき集めた。現在は知名度が上がり、今は募集する前から応募が来ている状況。150店舗以上の応募が来ている。</p>
<p>選定の基準は。</p>	<p>1店1店みている。まず選定メンバーを決めて、「アサカストリートテラス」に合うか、合わないかが選定基準。実際に会って、HPを調べて何している人なのか。出店数150店舗の募集に対して、200店舗ほどの応募が来ているため、どちらかという「アサカストリートテラス」に合わない店舗を探しているという形で選定している。</p>

質 問	回 答
<p>上里町では、駅前マーケットを実施しており、これまで3回実施している。来場者は1000人以上で、来場者も楽しんでくれているが、日常の賑わいにもつなげていきたい。</p> <p>あさかエリアデザイン会議で日常の賑わいづくりについて、考えていることや実施していることがあれば教えてほしい。</p>	<p>朝霞市では、大規模なイベントとして「アサカストリートテラス」を実施しており、約半年ほど準備する。この大規模イベントは、まちのブランディングや広告的な効果を狙っている。</p> <p>一方で、できるだけ労力のかからないようなイベントとして、「ちいさなテラス」を実施している。「ちいさなテラス」では、事業者を絞る、エリアも限定、チラシもフォーマットを作成して日付を変えるのみ、使用する什器も揃えており（こういう場所に仕舞っていて、こういう運び方で準備する）、準備を単純化することで、準備期間の短縮、労力を削減している。</p> <p>この「ちいさなテラス」は、あまり集客は考えておらず、とにかく継続できるということを主軸にしている。最初の集客は少なかったが、現在はたくさんの方が来ている。</p> <p>メインとなるしっかりとしたイベントがないと、継続的な小さなイベントも盛り上がらないため、これらの相乗効果が非常に大事だと思う。</p>
<p>上里町でもエリプラの構築に向けて、準備をしている。行政側ができること、頑張ることがあればアドバイスが欲しい。</p>	<p>地域の連携を取りやすい、下地作りをしていくことが大事。</p> <p>色々な助成制度があるため、行政の人が最新の助成制度について理解していくことも大事。</p>

【 後日・回答分 】

(1) 朝霞市に係る質問

① 朝霞市のまちづくりに係る質問

質 問	回 答
<p>継続した活動の秘訣は、民間主導で主体性を持って積極的に行動する人がいるからだと思います。その点で朝霞市は恵まれていたと思いますが、いかがでしょうか。</p>	<p>継続については、「主体性を持った担当者」と「継続できる仕組み（収益モデル）」の2点が重要です。</p> <p>仕組みづくりは担当者が行うので、主体性を持った人に尽きると思います。</p> <p>ここが朝霞の場合、揃ったことが良かったですね。</p>
<p>まちづくりをするのにあたり、元々住んでた方々へ向けて活動したのか、外から人を呼ぶ仕組みを考えたのか知りたいです。</p>	<p>まずは朝霞に住んでいる人に、住んで良かったと思えるような活動を行なっております。</p>
<p>エリアのにぎわいにより自治会加入率も向上しているでしょうか。</p>	<p>自治会の加入率については調べていませんが、おそらくそこには影響がないと思います。</p>
<p>補助金の使い道、補助金がなくなった後、どの程度収益を出さなければいけないのですか。</p>	<p>どの程度収益を上げないといけないかについては、まず収支でトントンを目指すところからスタートします。</p>

② エリプラに係る質問

質問	回答
エリアプラットフォームの立ち上げに苦労したことがあれば教えてください。	エリアプラットフォームの立ち上げで苦労したことは、既存団体への合意形成でしょうか。その事前の根回しに時間をかけました。
エリアデザイン会議は、市の計画にどれほどの影響力があるのでしょうか。	エリアデザイン会議と市の計画は相互に影響してると言えますね。目指してることは同じなので、それぞれの特徴を活かして担当を分けてるということになります。

③ イベントに係る質問

質問	回答
イベントにおける主催者側（出店者含む）、参加者（来場者）の年代は。	イベントの主催者、参加者は30代、40代が多いですね。
イベントに来場される方は市外の方も多いいですか。	イベントの来場者ですが3割くらいが市外です。朝霞市民がやはり多いなという印象ですね。これは嬉しいことです。
地元高校の部活動の発表等が「ASAKA STREET TERRACE」で行われていたりするのでしょうか。	今のところ部活動との連携はないですね。
「ちいさなテラス」の出店数、開催頻度、場所。同じ場所か毎回変更しているのか。	「ちいさなテラス」は毎月実施していて、例外はありますが、基本は「シンボルロード」で実施しています。

(2) 上里町のまちづくりに係る質問

質 問	回 答
上里町は「官」からまちづくりを進めています。成功するために必要なことは何だと思えますか。	成功の秘訣は、「主体性のある人」探しですね。
今迄の経験から、上里町では、どのような成功イメージを持たれますか。	まず勉強会での来場者様を見てですが、若いプレイヤーが少なかったと思います。今までの経験上、「そういう人はいない」と言っても実はちゃんとしていることが多いです。 何か若い人を惹きつけるクリエイティブなイベントを実施し、そういう下地となるコミュニティを形成するところから始めるといいと思いました。
人の集まる場所には何か仕掛けがあると思う（門前市とか）。 上里は駅北・南・大型店と区分されている。個店はほとんどなくなりました。 町民は町外に働きに出て、昼間人口が少ない状況。 ウォークアブルなまちづくりをどのように取り組むべきか。	人が集まる仕掛けですが、これは全国の事例を見ても何か拠点となる、一つ点を打つことが重要です。 それが cafe だったり、シェアオフィスだったりいろんな形態はありますが、そういう面白い場所を作ることが大事です。

(3) その他まちづくりに係る質問

質 問	回 答
民間主導のまちづくりが成功する町の条件は。どんな町だと活発な活動が生まれるのか。	民間主導のまちづくりの秘訣は、市民がまちづくりに主体的になることです。 それと世界的に見てどんな町だと民間主導になりやすいかという、一度地に落ちるという側面もあります。治安が悪くなったとか、地域経済がガタ落ちしたとか、これじゃダメだと民間が立ち上がって、民間主導が生まれるというのが多いのは事実です。 ただそれを意図的に起こすことは出来ないので、市民の主体性の醸成をどうしていくか。それを独自に考えることが大事です。
自身の事業とまちづくりへでの活動を両立している人の特徴や素質があれば教えてください。	自身の事業と公益活動の両立ですが、とてもいい視点です。 公益性が上がることで自身の事業が向上するというのはまず事業の性質にありますね。 特に不動産事業（賃貸事業）と親和性があります。
まちづくりを行うエリアの選定方法と、選定エリアで継続的なまちづくりのために必要な要素を教えてください。	エリアの選定についてですが、まずはアクセス、民間所有地と公共空間があること、ですね。 あまり大きすぎないエリアを特定することも重要です。 2km 圏内くらいがいいと思っています。